



テーマ
アートと人と街と

ATAMI 2030 会 議

CONFERENCE

熱海リノベーションまちづくり実行委員会



「ATAMI2030」それは、もう一度熱海の持つ資源に立ち戻り、現代という時代に合わせて都市と暮らしをアップデートしていく指針。行政も民間も、外の人も内の人も、若者もシニアも、境目なしに自分たちの暮らしは自分たちでつくっていく。一人ひとりが動き始めた熱海。2030年の未来が見え始めた熱海。そんな熱海の未来を、あなたも一緒につくりませんか。笑って、泣いて、動いて、感動して。はじめの一步は「ATAMI2030」から！



委員会座長
清水 義次氏
Yoshitsugu Shimizu

日時

2017年 12月5日(火) 18:00~20:30

場所

naedoco (静岡県熱海市銀座町 6-6 サトウ椿ビル 2F)

内容

- 18:00 ~ 18:10 開催趣旨と今回のテーマのご説明
- 18:10 ~ 18:50 ゲストトーク「アート×産業×コミュニティ」
- 18:50 ~ 19:10 実践者ミニトーク
- 19:10 ~ 20:30 会場も交えた意見交換

※終了後、懇親会を予定しております。



講演者

中村 政人氏
Masato Nakamura

主催 熱海市 協力 株式会社 machimori

熱海市役所 観光経済課 産業振興室 ☎ 0557-86-6204 FAX 0557-86-6199

▶ WEB サイトより
お申込みください。

<http://renovation-atami.net/>

電話・FAXの場合は、お名前と連絡先（電話）、参加人数、懇親会参加の有無をお知らせください。



ATAMI 2030 会議

CONFERENCE

熱海リノベーションまちづくり実行委員会

テーマ
アートと
人と街と



講演
内容

「アート×産業×コミュニティ」

アートはどこからアートになるのでしょうか？ 真っ白いキャンパスが絵画になったり、落書きが芸術作品に変わったり、お惣菜が無形文化財になったり、鼻歌が演劇になる境目はどこでしょうか？ そここが分からないのがアートの難しさでもあるのですが、そこが曖昧な事もまた、アートの自由さであり、魅力だったりします。そう考えると、アートと熱海が目指すまちづくりは似ていて、目指しているのは様々な人や場所、表現や考え方がゆるやかにつながりながら、それぞれが自分の居場所を見つけられる価値観なのではないでしょうか？ きっとアートがある街とは、街と人の境目が優しい街なのかもしれない。

TIME TABLE

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 18:00 ~ 18:10 | 開催趣旨と今回のテーマのご説明 |
| 18:10 ~ 18:50 | ゲストトーク「アート×産業×コミュニティ」 |
| 18:50 ~ 19:10 | 実践者ミニトーク |
| 19:10 ~ 20:30 | 会場も交えた意見交換 |

※終了後、懇親会を予定しております。

ATAMI2030会議2017版は全5回開催します！

第5回 '17 ATAMI2030会議Final!

2018年 2月17日(土)

今年度でバージョンアップした構想の発表と、
様々な実践者と会場も交えた意見発表・意見交換を予定しております。



講演者

中村 政人氏

Masato Nakamura

1963年秋田県大館市生まれ。アーティスト。東京藝術大学絵画科教授。アートを介してコミュニティと産業を繋げ、文化や社会を更新する都市創造のしくみをつくる社会派アーティスト。第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表。平成22年度芸術選奨受賞。1997年よりアート活動集団「コマンドN」を主宰。秋田県大館市等で地域再生型アートプロジェクトを多数展開。プロジェクトスペース「KANDADA」(2005-09)を経て、2010年より民設民営のアートセンター「アーツ千代田 3331」(東京・千代田区)を立ち上げる。2011年より震災復興支援「わわプロジェクト」、2012年より東京・神田にて「TRANS ARTS TOKYO」を始動。2015年、個展「明るい絶望」開催。2016年よりプロジェクトリーダーを育成する「プロジェクトスクール @ 3331」を開校。著書に「美術と教育」「新しいページを開け」等。



委員会座長

清水 義次氏

Yoshitsugu Shimizu

株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役 / 3331 アーツ千代田代表 / 一般社団法人公民連携事業機構代表理事 1949年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。マーケティング・コンサルタント会社を経て、1992年株式会社アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。主なプロジェクトとして、北九州市小倉家守プロジェクト、岩手県紫波町オガールプロジェクトなど、民間のみならず公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業をプロデュースしている。